

国連気候変動枠組条約第 22 回締約国会合／  
京都議定書第 12 回締約国会合  
サイドイベント



熱帯雨林における REDD+のための結果に基づく支払いを可能にする: 参照  
レベル設定から得た教訓 (Enabling results-based payments for REDD+ in tropical  
forests: Lessons from reference setting)

日程 : 2016 年 11 月 17 日 (木) : 15:00-16:30

場所 : オブザーバルーム 10, Bab Ighli, マラケッシュ、モロッコ王国

多くの熱帯諸国は国別 REDD+戦略を策定し、パリ協定に基づく NDC (自国が決定する貢献) に関連して気候変動緩和に貢献することの可能性を真剣に検討している。REDD+の結果に基づく支払いに関して、いくつかの熱帯諸国が既に森林参照排出レベル/森林参照レベル (FRELs/FRLs) を提出しており、関連する技術的評価が迅速に実施されている。国家レベルおよび準国レベルでの信頼性が高く一貫性のある FRELs/FRLs を作成することが、取り組むべき重要課題となっている。本サイドイベントでは、特定の熱帯諸国における FRELs / FRL の策定、及び熱帯雨林における REDD+の効果的な実施のための結果に基づく支払いを可能にする条件に関する課題を議論する機会を提供する。

### プログラム

モデレーター : Dr. Hwan-ok Ma (国際熱帯木材機関 (ITTO))

- ・ 開会挨拶 : 沖 修司 (林野庁次長)
- ・ 基調講演 : Dr. Maria Jose Sanchez (Scientific Director, Basque Centre for Climate Change, スペイン王国)
- ・ パネルディスカッション
  - 平田 泰雅 (国立研究開発法人森林総合研究所 (FFPRI) REDD 研究開発センター長)
  - Ms. Novia Widyaningtyas (インドネシア共和国、環境林業省)
  - Dr. Elizabeth Philip (マレーシア、森林研究所)
  - Mr. Chivin LENG (カンボジア王国、環境省)
  - Mr. Kwame Agyei (ガーナ共和国、国家 REDD+事務局)
- ・ ディスカッション

### 連絡先 :

森林総合研究所 : Dr. Yasumasa Hirata (平田 泰雅) [climate@ffpri.affrc.go.jp](mailto:climate@ffpri.affrc.go.jp)

国際熱帯木材機関 : Dr. Hwan-ok Ma [ma@itto.int](mailto:ma@itto.int)